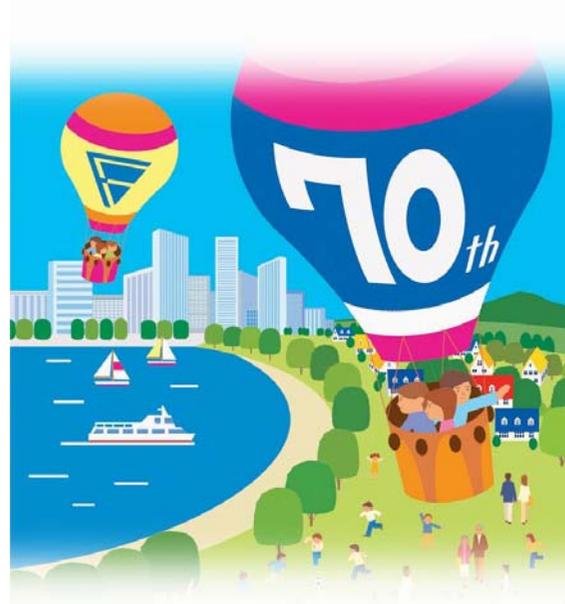


2010年3月期 第2四半期決算説明会資料 2009年4月～2009年9月



日 時：2009年11月11日（水）16：00～17：00
会 場：フクダ電子株式会社 本郷新館



<http://www.fukuda.co.jp>

1. 決算概要（連結）	3
2. 2009年度下期の主な取り組み	7
3. 2009年度業績予想	19



単位：百万円	2008.09	2009.09	増減額	増減率
売上高	42,813	41,578	-1,235	-2.9%
売上総利益	18,691	19,272	580	3.1%
販売費及び一般管理費	15,590	16,469	879	5.6%
営業利益	3,101	2,803	-298	-9.6%
経常利益	3,166	2,901	-264	-8.4%
四半期純利益	1,658	1,114	-544	-32.8%
為替レート：ドル	106円	96円		
ユーロ	162円	132円		

売上減少の主因は心電計、AED、人工呼吸器と海外販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益が減少した

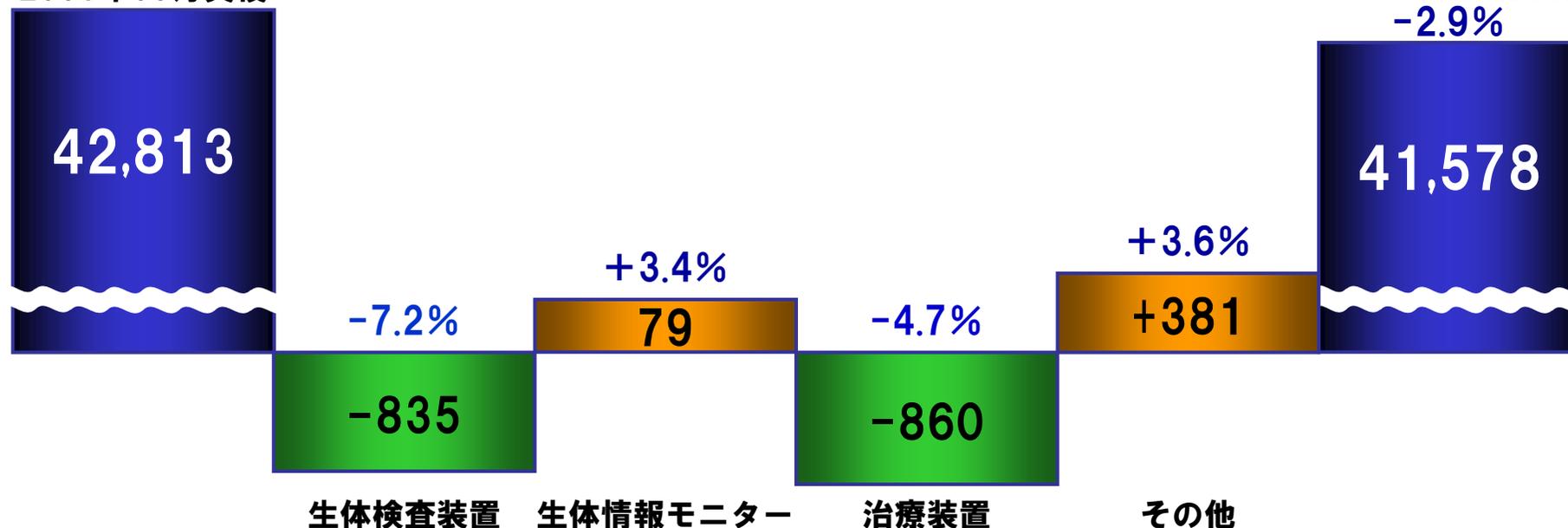
事業別売上高増減要因

(単位：百万円)

2008年09月実績

2009年09月実績

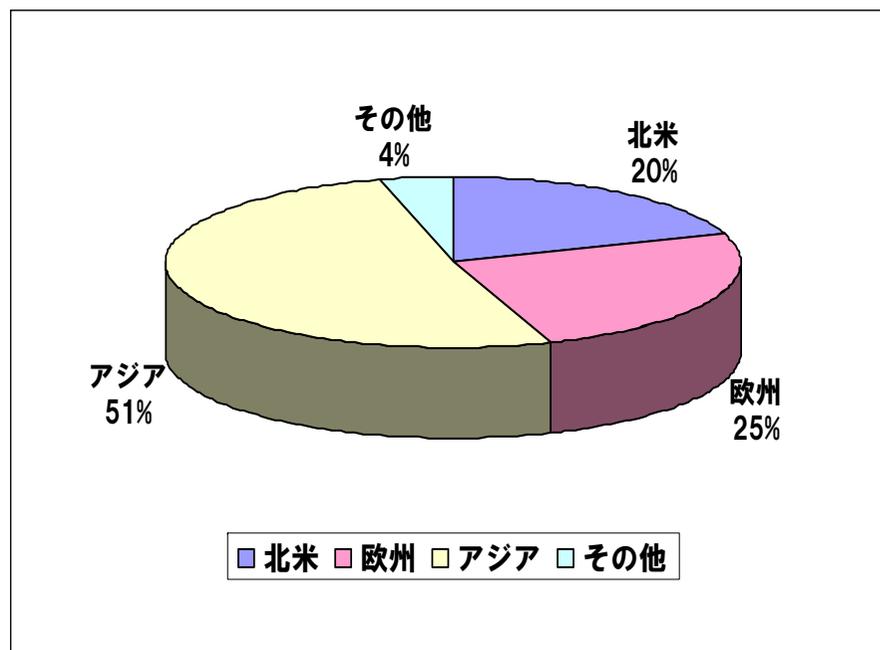
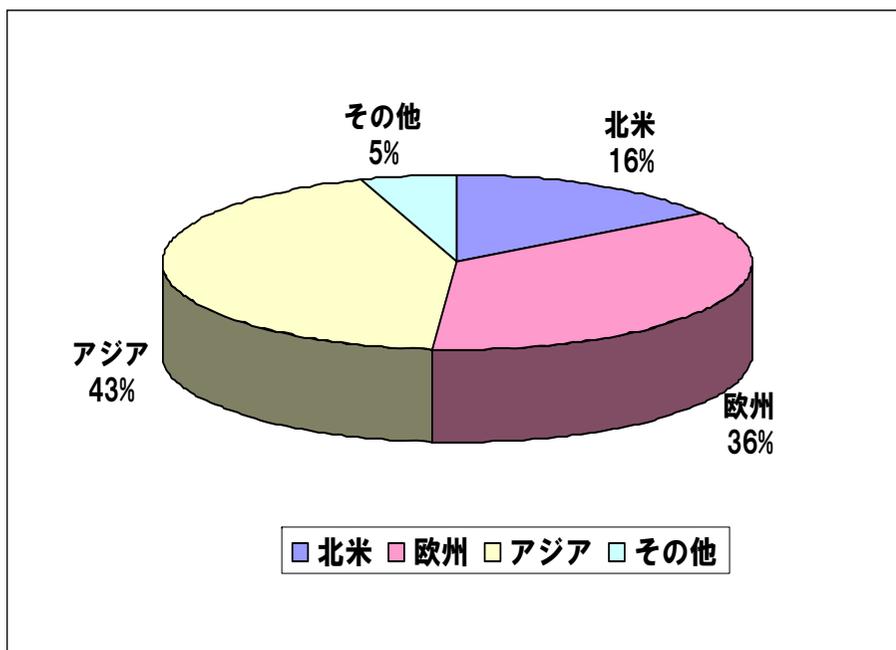
-2.9%



単位：百万円	08年上期実績	09年上期実績
生体検査装置	11,618	10,783
生体情報モニター	2,333	2,412
治療装置	18,339	17,479
その他	10,522	10,903
売上高合計	42,813	41,578

2008.09
2,227百万円

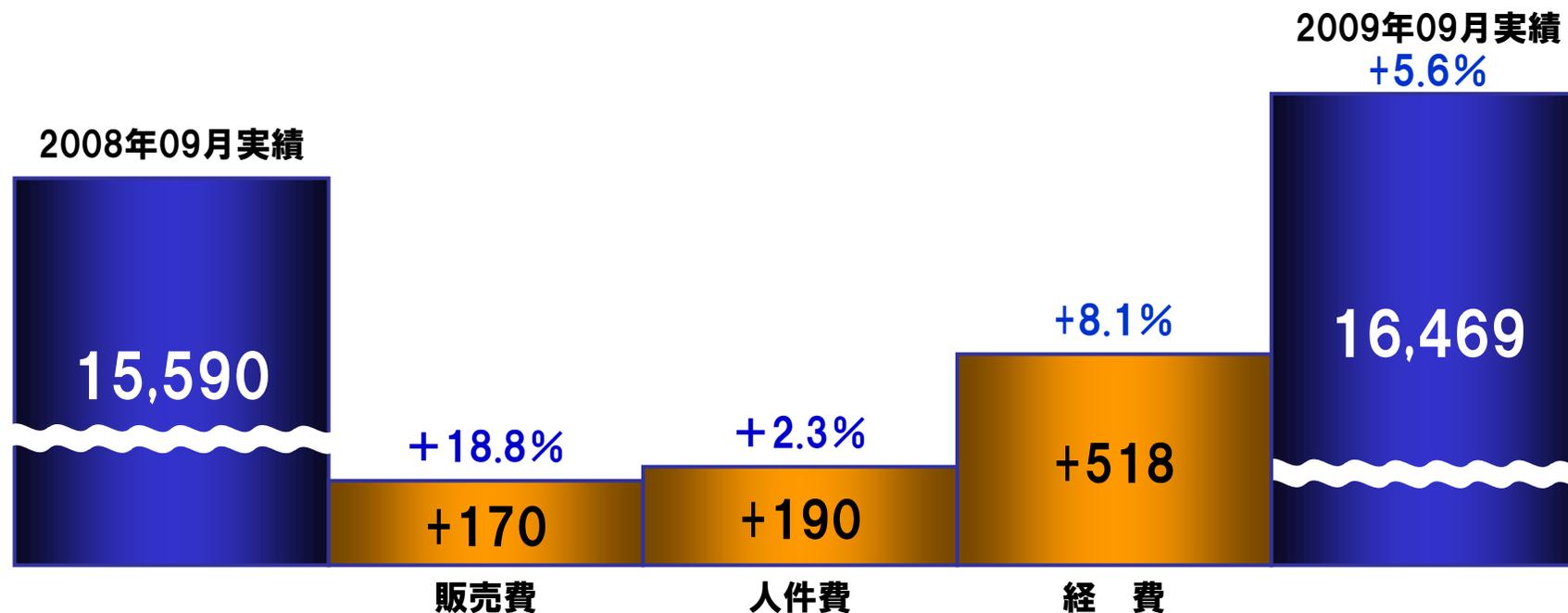
2009.09
1,550百万円



世界的金融危機の影響による景気悪化により海外事業の売上が減少

販売費および一般管理費

(単位：百万円)



販売費は主に広告宣伝費が増加
人件費は販売子会社の人員増加
経費は研究開発費が増加した

1. 中期経営計画の体系
2. 医療施設種類別施設数の年次推移
3. カーディオ・パーティライン
4. 足の動脈硬化を診る
5. カテ室領域へのアプローチ
6. AEDを身近に！
7. AEDの安全管理
8. 2009年度グッドデザイン賞を受賞
9. フクダ電子安全性試験センター
10. 下期期待できる製品のご案内
11. 新製品のご紹介



現状の課題と今後の事業方針

中期目標

2012年度 経常利益率8%以上を達成する

事業課題

ドメイン別事業展開の推進

病院

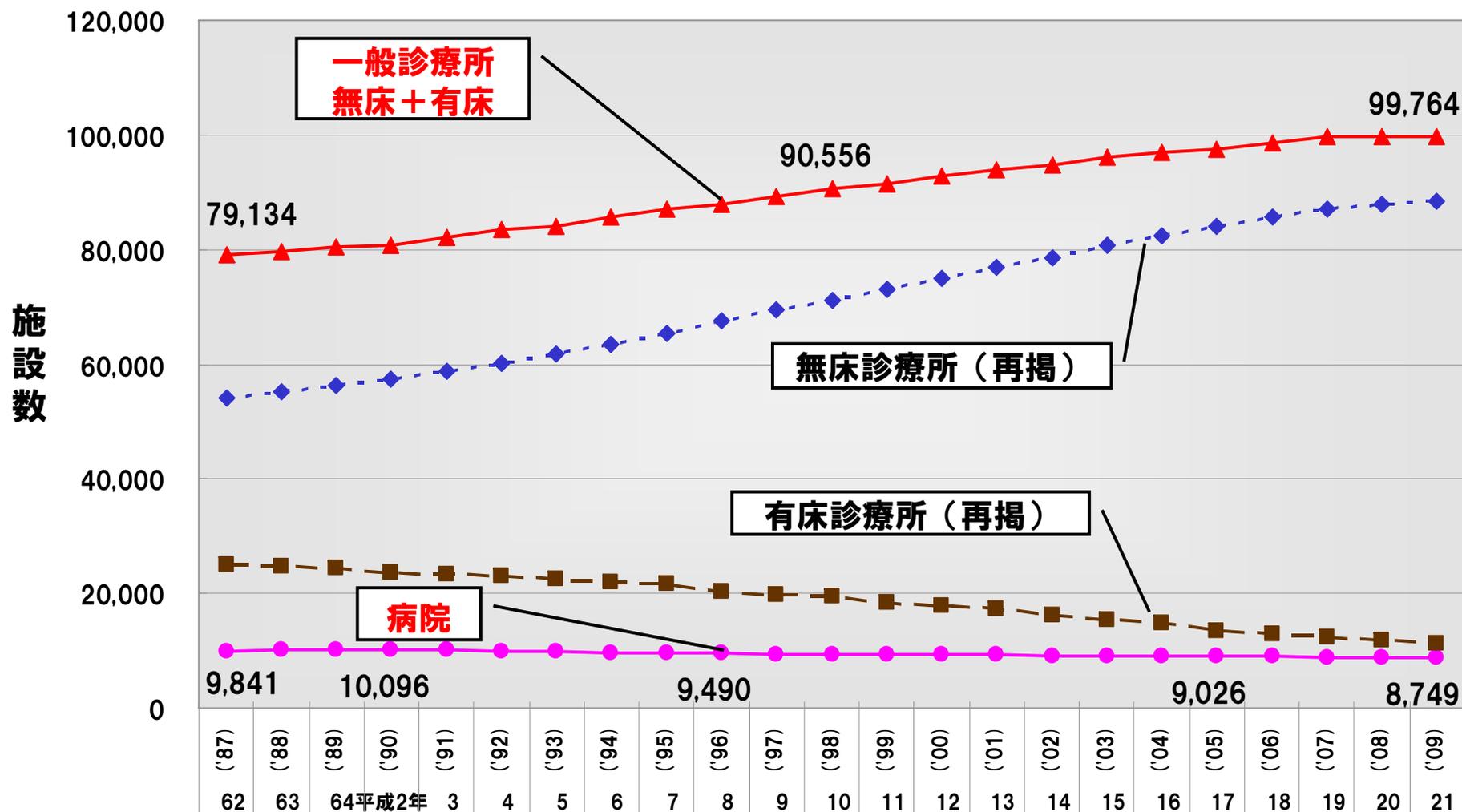
検査～治療～経過観察まで一貫した医療環境を提供

診療所

開業医の「かかりつけ医」機能強化を支援

市場環境の変化に対応した事業展開を推進する

医療施設種類別施設数の年次推移



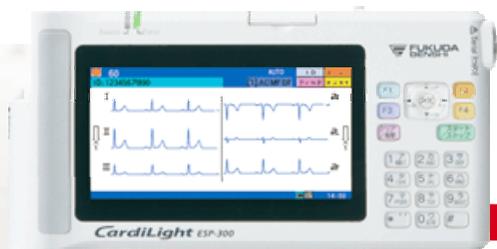
病院とは「20床以上の入院施設を持つ医療機関」
 診療所とは「19床未満のもの」というのが医療法による定義

出典：厚生労働省医療施設調査
 平成20年9月末概要、平成21年7月末概要

無線LANで検査データをリンク

キャリオで収録した検査データを無線LANでピッと送り、ビューオでパッと受取りレポートを出力。そんな新しいスタイルで様々なシーンで活躍します。

往診や病棟回診に



携帯型心電計
ESP-300DX/SP

キャリオ
Carryo

Cardio カーディオ・パーティライン
PartyLine

検査後の診療をサポート



多機能心電計（解析機能付）
FCP-8221

Vyuoo ヴュオ



血圧脈波検査装置 バセラVS-1500Aシリーズ



閉塞性動脈硬化症（PAD）の検出感度向上

ABI

+

TBI

足趾用ポンプと
センサーを独自開発

糖尿病や腎不全患者で末梢血管が詰まる症状、閉塞性動脈硬化症（PAD）を早期に発見できるようになりました。

PADの早期発見は心筋梗塞や脳梗塞の予防につながります

不整脈・虚血性心疾患へのトータルマネジメント

不整脈疾患

虚血性心疾患

検査

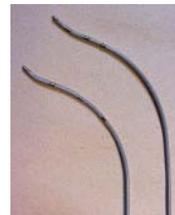
治療

リハビリ

心臓カテテル室



心臓電気刺激装置



電極カテテル



心臓カテテル検査装置



造影カテテル



植込み型
除細動器



両室ペースング機能付
植込み型除細動器



植込み型心臓
ペースメーカ



PTCAカテテル サイクロン

心臓リハビリによる社会復帰

検査から治療・リハビリまでをフクダ電子は包括的にサポート

身近な場所へのAED設置による地域社会へ貢献

国内の心臓突然死

年間約5万人

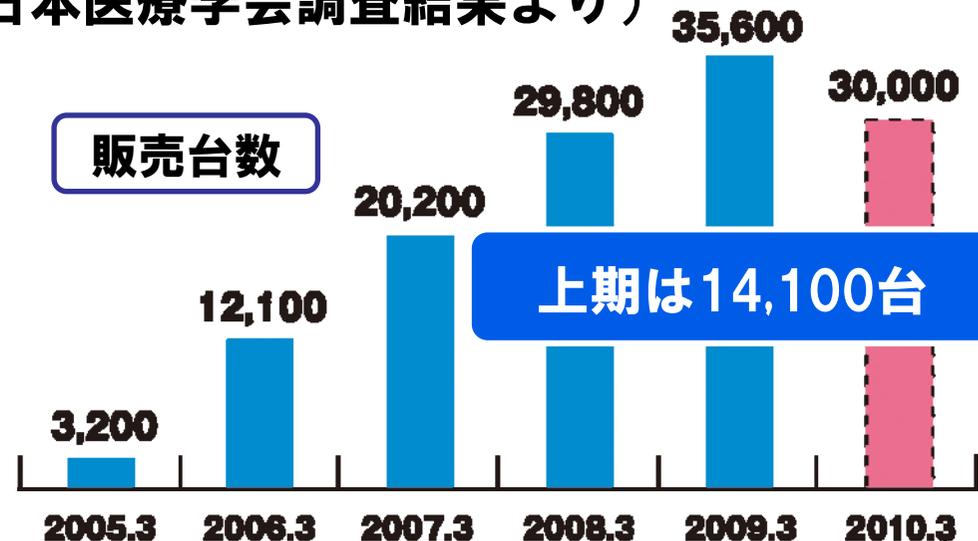
心臓突然死は

自宅での発生が80%



突然死（予期しない24時間以内の内因死）は年間約10万人、そのうち約5万人強が心臓突然死で1日約130人が亡くなっているという結果が出ています。

（日本医療学会調査結果より）



自宅やマンション等の、より身近な場所へのAED設置が重要

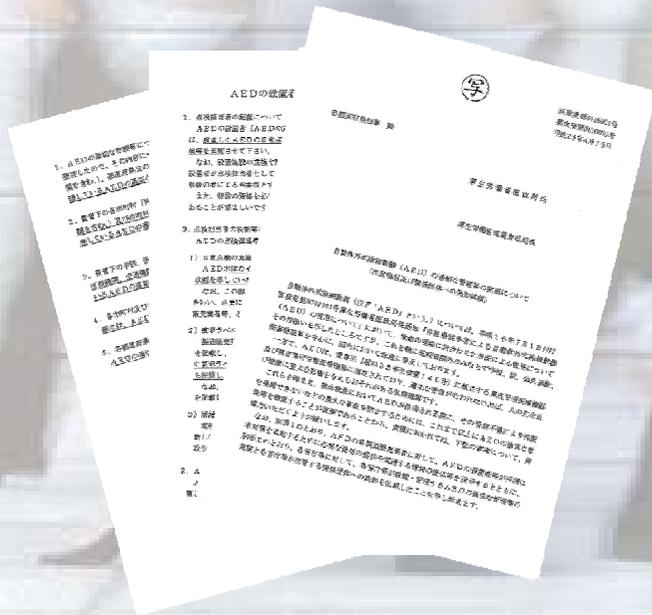
フクダ電子はAED設置後の安全管理も徹底

AED “いざ” というときのために・・・

AEDの必要性が世間に広く認知され、様々な公共施設や企業に設置が進み、より身近なものとなってきました。一般の方による使用や救命された事例が多く報じられており、“いざ” というときにいつでも安全にお使いいただけるようパッドやバッテリーの交換時期等を見やすくお知らせしています。



安全点検ラベル



AED消耗品交換時期	
パッド	成人 交換時期 年 月
	子供 交換時期 年 月
	小児 交換時期 年 月
バッテリー	交換時期 年 月

※このラベルは設置場所のAEDに貼付してください。



多機能心電計（解析機能付）FCP-8453

FCP-8453は、様々な操作をシンプルに分かり易くし、機器全体をコンパクトデザインで集約しました。また、心房負荷・心室肥大・心筋虚血・心筋梗塞・伝導障害・不整脈などの生体情報を、心臓全体のイメージ画像を用い3方向から確認できる“パノラマイメージView”のインターフェイスデザインが評価されました。



GOOD
DESIGN

グッドデザイン賞は、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する総合的なデザイン評価・推奨制度です。母体は、1957年に通商産業省（現経済産業省）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度（通称Gマーク制度）」で、豊かな生活と産業の発展を求めて、「優れたデザイン」を選ぶ活動を、50年以上展開しています。

異常をビジュアル化して表現する
“パノラマイメージView”搭載
多機能心電計（解析機能付）FCP-8453

ISO/IEC 17025を取得

当社の「安全性試験センター」が、財団法人日本適合性認定協会（JAB）より、国際規格ISO/IEC 17025（JIS Q 17025）に基づいた医療用電気機器分野における試験所認定を9月1日に取得いたしました。



フクダ電子安全性試験センターは財団法人日本適合性認定協会が医療用電気機器の試験を実施する試験機関として、国内で認定した三番目の試験所となります。

室内の空気をリフレッシュします。

インフル
エンザ対策
へも効果的

空気清浄除菌脱臭装置

FDS-GON

汚れた空気を吸い込み、
紫外線とオゾン、光触媒で
強力に除菌・脱臭。
空気をきれいにします。

フィルタに捕集したウィルスを
数時間かけて除菌したり、空気
中で不安定なイオンを放出して
除菌する一般市販品に対して、
この装置は内部を1回通過する
だけの2~3秒で、黄色ブドウ
球菌をほぼ100%除菌できる
ことが大きな違いです。

自動血球計数測定装置

LC-661

感染予防
を考慮

白血球3分類をすぐ測定
感染予防に効果的な
キャップピアシング
機能搭載



新生児・小児・成人用 人工呼吸器

Servo i

インフル
エンザ等の
重症患者に

1970年代から世界中で
使用されている、サーボ
ベンチレータシリーズの
最上位機種



ポケットサイズで往診に最適



携帯型心電計
ESP-300DX/SP

パノラマレポート



多機能心電計（解析機能付）
FCP-8221

TBI機能付きもラインナップ



血圧脈波検査装置
VaSera VS-1500シリーズ

24時間血圧管理が可能



ホルター自動連続血圧計
FB-270

高画質・コンパクト



フルデジタル超音波画像診断装置
UF-400AX

衛生的なキャップピアシング



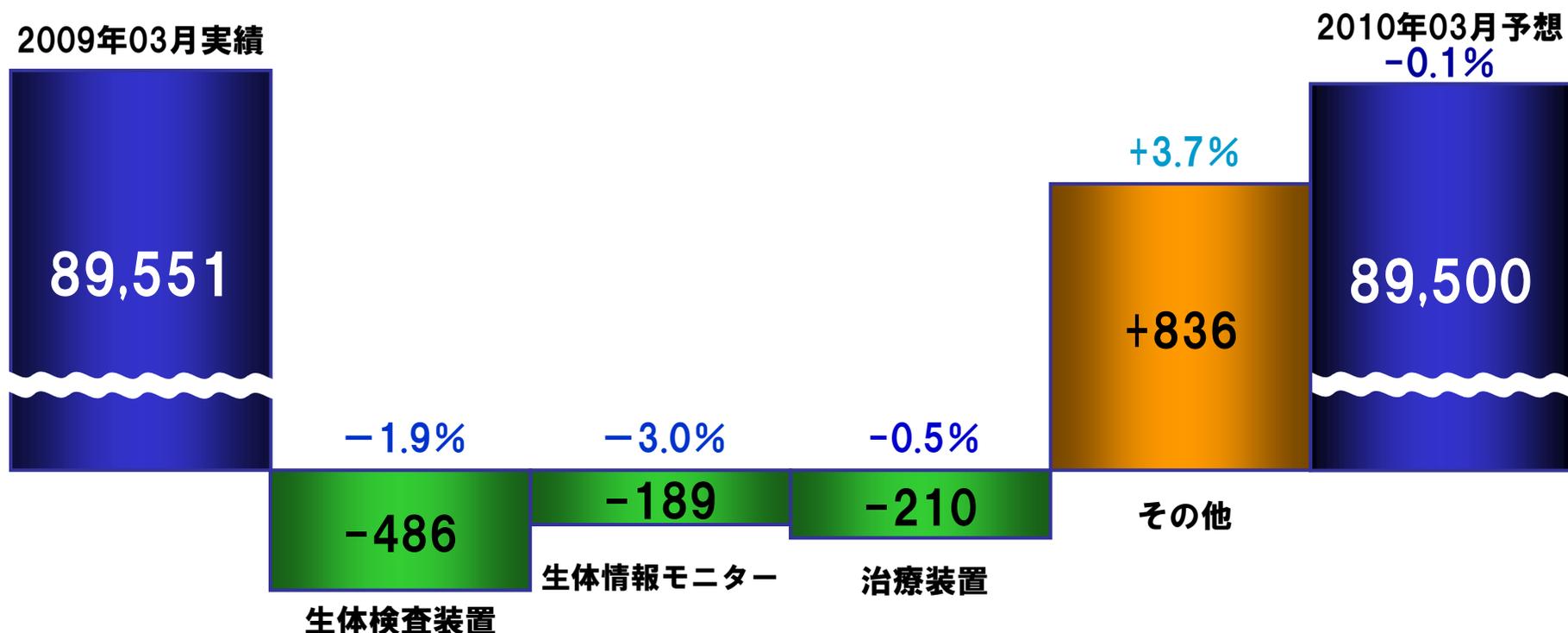
自動血球計数装置
LC-661

2009年度業績予想

単位：百万円	2010.03 当初予想	2010.03 修正予想	増減額	増減率
売上高	89,500	89,500	0	0.0%
（内、海外売上高）	(3,900)	(3,500)	(-400)	(-10.2%)
営業利益	6,000	6,000	0	0.0%
経常利益	6,000	6,000	0	0.0%
四半期純利益	2,800	2,800	0	0.0%
為替レート：ドル	100円	100円		
ユーロ	130円	130円		

世界的な景気後退及び円高の影響により海外売上高を400百万円下方修正
国内においても高額医療器機の見直しサイクルの長期化等が懸念されるが、
新製品の投入及び在宅レンタル事業の強化にて海外売上減をカバーし、
当初の予想売上高を達成できる見込み

2009年度売上高増減要因



単位：百万円	09年上期実績	09年下期予想	09年通期予想
生体検査装置	10,783	13,217	24,000
生体情報モニター	2,412	3,588	6,000
治療装置	17,479	18,871	36,350
その他	10,903	12,247	23,150
売上高合計	41,578	47,922	89,500



**「ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する」を経営理念とし、
検査から治療・経過観察まで3本柱の事業で成長し、
「総合MEメーカー」としての企業価値向上への進化を続けてまいります。**

[お断り]

この資料に記載されております業績予想数値は、当社および当社グループの事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を及ぼす要因について、現時点で入手可能な情報に基づいての見通しであり将来に亘る部分については、皆様の投資のご参考に資するために、ご提供をさせて頂くものです。

同数値については市況、競争状況、新製品および商品の投入状況など多くの不確実な要因の影響を受け予想と異なる結果になることが有るため、保証をお約束するものではありません。

以上のことを、ご認識頂き、ご活用をお願い致します。

この資料に関するお問合せは、下記にお願いいたします。

経営企画部：福田・久野

TEL:03-5684-1558 FAX:03-5684-1577 email:info@fukuda.co.jp



〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号